

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U) 平3-97009

⑬ Int. Cl.⁹

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成3年(1991)10月4日

B 65 C 9/18

7127-3E

審査請求 有 請求項の数 6 (全2頁)

⑮ 考案の名称 ラベル貼着装置

⑯ 実 願 平2-4404

⑰ 出 願 平2(1990)1月22日

⑱ 考 案 者 池 野 谷 將 之 東京都新宿区四谷1-7 持田製薬株式会社内
 ⑲ 考 案 者 牧 島 誠 東京都新宿区四谷1-7 持田製薬株式会社内
 ⑳ 考 案 者 庄 司 昭 東京都新宿区四谷1-7 持田製薬株式会社内
 ㉑ 考 案 者 大 杉 光 男 東京都新宿区四谷1-7 持田製薬株式会社内
 ㉒ 出 願 人 持田製薬株式会社 東京都新宿区四谷1-7
 ㉓ 代 理 人 弁理士 甲斐 正憲

⑳ 実用新案登録請求の範囲

(1) 一定の間隔でラベルを貼付してなる細幅長尺のラベル台紙をフリクションバットを通過して送出す送出しリールと、該送出しリールの外周に付設されラベル台紙の送出しを案内するガイドリングと、ラベルに順次ロット番号、日付等の捺印を行なう捺印機構と、先端部が鋭角状に形成され該先端部でラベル台紙から順次ラベルを分離せしめるラベル分離ウエッジと、分離されたラベルを順次定位に繰り出される瓶体に押圧貼着する貼着ローラと、送出しリールからラベル台紙を引出すためのピンチローラ及びキャブスタンと、ラベルが分離したあとの台紙を巻取る巻取りリールとを、有してなるラベル貼着装置において、送出しリールの中心部に回転軸を設け、ピンチローラ及びキャブスタンによるラベル台紙の引出し速度より早い送出し速度を有するとともに、ラベル台紙の送出し量が所定量を超過するとき回転を停止するモータを送出しリールに付設し、前記捺印機構の刻印部に正対する位置にラベルが移動すると該ラベルを検知してラベル台紙の進行を停止し該刻印部を先端に装着するエアシリンダを前進させラベルに捺印せしめる光電管装置と、捺印終了後再び移動するラベルの捺印のずれ、文字脱落等の不具合を検知してラベル台紙の進行を停止せしめるモニタテレビ装置とを設けて構成されるこ

とを特徴とする瓶体等用のラベル貼着装置。

- (2) 送出しリールのガイドリングに設けられて最外周のラベル台紙との距離が一定値になると前記モータの回転を停止する信号を発する近接センサを設けてなる請求項1に記載のラベル貼着装置。
 (3) ラベルが刻印部の外側のリボン式カーボンとあて板との間に停止する請求項1に記載のラベル貼着装置。
 (4) 捺印の不具合が一定面積の白色の捺印部分における捺印による着色部分の占める比率によって検知される請求項1に記載のラベル貼着装置。
 (5) 貼着されたラベルと瓶体との不整合を検知する光電管装置を貼着ローラ近傍に有する請求項1に記載のラベル貼着装置。
 (6) ラベル台紙と近接センサとの距離が2～5mmである請求項2に記載のラベル貼着装置。

図面の簡単な説明

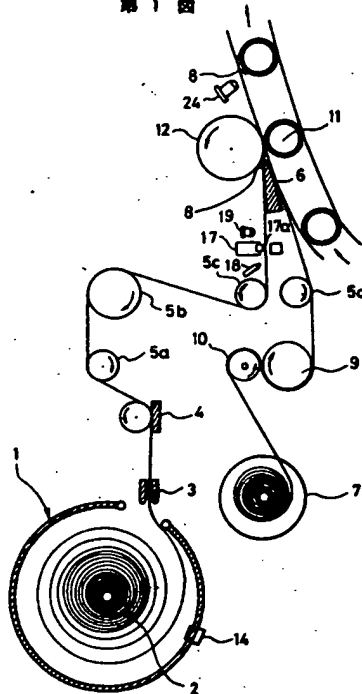
第1図は本考案に係るラベル装置の全体説明図、第2図及び第3図は送出しリールの要部断面的側面図及び平面図、第4図は近接センサの一例を示す説明図、第5図は押印機構を示す説明図である。

1……送出しリール、2……ラベル台紙、3……台紙ガイド、4……フリクションバット、5 a、5 b、5 c、5 d……案内ローラ、6……ラ

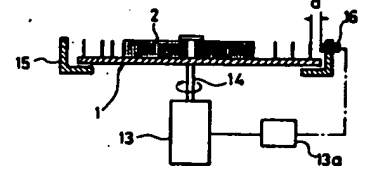
ベル分離ウェッジ、7……巻取りリール、8……ラベル、9……ピンチローラ、10……キャブスタン、11……瓶体、12……貼着ローラ、13……モータ、14……回転軸、15……ガイドリ

ング、16……近接センサ、17……押印機構、17a……捺印部、18……光電管装置、19……モニタテレビ、20……エアシリンダ、21……リボン式カーボン紙、22……あて板。

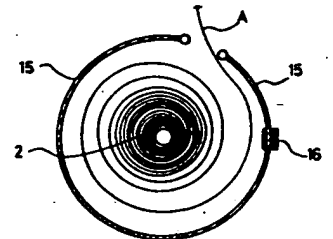
第1図



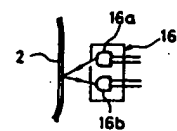
第2図



第3図



第4図



第5図

